

労働力調査（基本集計）平成23年度平均 全国（岩手県、宮城県及び福島県を除く）

結果の概要

1. 平成23年度平均の完全失業率は4.5%と、前年度に比べ0.5ポイント低下
2. 平成23年度平均の完全失業者数は283万人と、前年度に比べ29万人減少

(主な求職理由別)	(完全失業者数)	(対前年度増減数)
非自発的な離職による者	103万人と、	21万人減少
定年又は雇用契約の満了	31万人と、	3万人減少
勤め先や事業の都合	72万人と、	18万人減少
自発的な離職による者	96万人と、	5万人減少
学卒未就職者	15万人と、	同数
収入を得る必要が生じたから	38万人と、	5万人減少

3. 平成23年度平均の就業者数は6013万人と、前年度に比べ13万人減少

(主な産業別)	(就業者数)	(対前年度増減数)
卸売業、小売業	1005万人と、	12万人減少
宿泊業、飲食サービス業	363万人と、	11万人減少
製造業	1003万人と、	9万人減少
医療、福祉	659万人と、	27万人増加
教育、学習支援業	283万人と、	6万人増加

注) 平成24年1月結果から算出の基礎となる人口を平成22年国勢調査結果を基準とする推計人口（新基準）に切り替えている。23年度平均については、23年4月から12月までの各月について新基準で遡及集計した数値を用いて算出している。

対前年増減の算出に用いた平成22年度平均の数値についても、新基準による比較のため、22年4月から12月までの各月は新基準に接続するように公表値（旧基準）を補正した数値、23年1月から3月までの各月は新基準で遡及集計した数値をそれぞれ用いて算出している（比率を除く。）。